業務改善助成金　助成事例　（抜粋）

（「設備投資等の内容」欄の下線は、投資内容が人材育成、業務改善コンサルティング等を含むもの

整理番号	事業内容	設備投資等の内容	導入前の状況	導入の効果
103	情報サービス業	顧客管理システム	顧客毎の対応履歴や売上状況、請求業務を一元化できていなかった。	顧客毎の対応履歴や売上状況、請求業務を一元化して、データベースで全員と共有することができた。このシステムを導入することによって、毎日行っていた打合せ時間を50%程度短縮することができた。また、システムを利用することにより、他の業務との連携もとれるようになり、業務を改善することができた。
106	情報サービス業	大容量のデータベースサーバー	新しく受注した医療機関向けソフトウェアの開発に当たり、既存のサーバー(データーベース用)ではデーターベース環境の構築スペースが不足しているため、既に販売(提供)済みの他医療機関用のデータベースをファイル形式でバックアップし、ファイル専用の他サーバーに退避させ、作業領域を確保する必要がある。この退避作業には、ファイル化と転送に2時間程度要していた。 また、異なる開発拠点間で同一のソフトウェア開発を行うケースが増加しており、同じデーターベースを参照しながらの作業が必要となっている。現在は、一方の開発拠点で作成したデーターベースについて、インターネット回線を利用して、その都度送信することでデーターベースを移動させて作業環境を確保していたが、データベースの送信に際し、ファイルのコピーと送信に2時間ほどかかるため開発作業の中断など無駄な作業が発生していた。	この新規サーバーの導入により、医療機関専用のデータベースを数多く構築維持することが可能になり、30時間/月の作業時間が不要となり、開発のスピードアップ(生産性の向上)が可能となった。 また、ドメインサーバーとデータベースサーバーを導入することにより、導入前と同等のセキュリティを確保したうえで、データベースのミラーリングが可能となり、各拠点のサーバーに開発中のデータベースが最新の状態で保持されるようになった。これにより、40時間/月発生していたファイルのコピーおよび送信の作業が不要となり、待ち時間の解消が図られ、商品開発のスピードアップ(生産性の向上)が可能となった。
115	飲食料品卸売業	インターネット受注機能があるホームページ	受注は電話で行っていた。	「インターネット受注機能があるホームページ」の作成により、従来の電話受注のうち20%程度をインターネット経由での注文に移行できると想定し、「804分(13時間超/月)」の業務効率化が可能であり、労働能率の増進を図ることが期待できる。
126	飲食料品小売業	ラベルプリンター	専門知識のある人しかラベル発行ができなかった。また、時間もかかっていた。	端末PCを使用することなく専門知識のない人でも発行できることにより、ラベルの即時発行が可能となったため、専属で印刷していたスタッフの作業時間が1日1時間費やしていたものが10分程度まで短縮された。また、生産者が近々に出荷したい商品をラベルの発行枚数のデータから取得できるようになったため、売り場のレイアウト等の変更を事前に行うことができるようになった。
129	飲食料品小売業	ラベル作成機 POSレジ	ラベルは手書きだったため20分くらいかかっていた。 値段を覚える必要があった。	①20分くらいかかっていたラベル作業が1～2分で終わるようになり作業効率が良くなった。 ②POSレジ導入により値段を覚える必要がなくなり効率が良くなった。
131	飲食料品小売業	商品・顧客管理システム	以前は、注文・配達・集金などの顧客管理、エクセルや紙等による台帳にて管理をしていたため、従業員全体で全部の顧客管理を把握することが難しく、顧客の担当者に確認をとらなければ、対応できない事も多く手間と時間がかかっていた。また、在庫管理に関しても扱う商品の種類が25種類以上と多いため、朝・夕の配達前に各2時間の在庫チェック・仕分け作業が必要であった。商品管理に時間を取られ、さらに注文・集金確認・請求書作成などの顧客管理やその他の帳簿作成に関しても最低でも1日2～3時間の作業時間を要していた。	バーコードで、商品管理・顧客管理ができる管理システムを導入することで、一元的に、在庫管理・配達管理等の商品管理業務が、全て「市乳くん」で管理できる。また、どの従業員もすべての顧客の注文履歴・入金記録等の顧客情報をシステムの一つの画面で確認でき、商品管理・請求書作成・その他の帳簿の整理業務にかかっていた時間も5分の1程度に短縮され、大きく業務改善につながった。
134	飲食料品小売業	インターネット受発注機能付きホームページ 顧客管理システム	ホームページと連携しての顧客データのパソコンでの管理ができなった。DMは手書きで行っていた。	インターネット受発注機能がある自社ホームページ、顧客管理システムにより自社HPで受注した顧客データをパソコンで管理できるようになった。また、自社HPに会員専用(業者用)ページを設けることで、卸売業者への受注業務もメールで出来るようになり、また、現在の手書きのDMをやめて、顧客管理システムからメールにてDM配信できるように業務効率化を図ることができた。このシステムにより、顧客管理に関して、10分(1顧客当り)、業者用の受発注に関しては1～2時間(1日あたり)、DM発信に関しては3～4日(1月あたり)の業務効率化アップが見込まれた。
135	飲食料品小売業	小型スチームコンベクションオーブン	調理作業に時間がかかっていた。	電気式オーブン（小型スチームコンベクションオーブン）の導入により、素早く、大量に、ガスバーナー程の手間をかけずに調理が可能となった。これにより、この作業に必要となる時間を約50%程度短縮し、生産性向上を図ることができた。
162	花・植木小売業	業務管理システム	仕入れ、内職、顧客、売上管理について手書きで処理していた。	仕入管理システム、内職管理システム、顧客管理システム、売上管理システムを一貫したシステム管理の導入により、今まで手書きで仕入れ、内職、顧客、売上管理に要していた時間が30%程度に短縮され、誰もがすぐに必要な情報を確認できる環境になり、効率の良い業務の流れが作り出せた。
163	生花小売業	ホームページの作成 写真加工ソフト POSレジシステム	写真の編集など時間がかかり、外部に依頼などすると価格も高く、手間がかかっていた。 今までは、通常業務の中でも会計・売上精算に時間がかかっていた。	ホームページを作成し、ネットショッピングできるようにも合わせて作成した。 写真加工ソフト等を導入することで、時間短縮やコストが減った。 POSレジシステムを会計ソフトと連動させることで、精算時間が短縮できたので、他の業務に取りかかれている。
164	生花小売業	顧客管理ソフト	今までは、毎回お客様に領収書の宛名や、請求書を出す際には、請求先を毎回お聞きしていた。アンケートについても、スタッフとのミーティング時に内容を考えて、それをペーパーに印刷して、店内に設置。という作業があった。	システム内の顧客情報の中に領収書の宛名や請求先を細かく記載できるので、お客様に尋ねる作業が無くなり、スタッフも画面を確認するだけで済み、お客様も毎回説明しなくて済むので、店舗・顧客ともにスムーズなやり取りが可能になった。アンケートも自作の物を店舗内に設置していたが、お客様のスマートフォンへ直接アンケート配信を行えるので、お客様も空いた時間に回答いただけることで、回答率が向上し、今後の経営戦略にも役立てられる。
170	無店舗小売業	ネット通販業務効率化システム	転記ミス等の人的ミスや誤配送が発生し、それに伴うクレーム対応に時間を要していた。	ネット通販業務効率化システムを導入し、受注データを送付状の作成や顧客への各種連絡業務にダイレクトに接続、会計への基幹システムにも連動させた。手書きを極力軽減し、基本的にデータのみで業務を遂行することで、送付状作成業務の所要時間が10%程度短縮された。また、転記ミス等の人的ミスや誤配送などで生じるクレーム対応に要した時間を10%程度減少された。
171	無店舗小売業	高機能ホームページ	ホームページで付属品の受注があったときは金額が反映されなかったので、再計算を行ったメールを再送する必要があった。1商品につき、付属パーツ等の選択肢に制限があり分割して発注があったときは確認作業が必要であった。サイトが統一されたいなかったので、確認作業が必要であった。	ホームページで、付属商品を選択すると販売価格がすぐに反映されるため決済画面にいくまでに金額が解るようになったため再計算をしてメールの再送をすることも無くなった。このことから一日当たり15件の処理が約30分の時間短縮になった。また、各商品につき付属パーツの選択肢が増やせるようになり受注が分割して行われにくくなった。このことから確認作業が減少したため1日当たり約20分の時間短縮になった。サイトが統一されたのでそれぞれのサイトに行って確認する作業が減った。これにより1日当たり30分程度の作業時間が短縮された。

整理番号	事業内容	設備投資等の内容	導入前の状況	導入の効果
201	飲食業	ヒートトップガスレンジ 電気式ディッシュウォーマー	①同時に加熱調理する能力に限りがあったので、最も客数の多いランチタイムではスムーズな料理提供がdきていなかった。 ②食器を温めたり運んだりする手間があった。	①ヒートトップガスレンジにすることで今までの倍以上の鍋を同時に加熱調理することができるようになり、最も客数の多いランチタイムでもスムーズな料理提供が可能になり売り上げ損失を招くこともなくなり売り上げの増加を達成することができた。 ②電気式ディッシュウォーマーの導入で食器を温めたり運んだりする手間が大幅に軽減されスピーディーな料理提供が可能になった。
205	飲食業	監視カメラシステム	今まで従業員が厨房で作業中に、玄関先の来客に気づいても玄関先まで走って対応していた。	監視カメラシステムを導入することにより、1日当たり来客の対応にかかっていた時間を20分程度省略する事ができた。その結果従業員が仕事に集中しやすくなった。
208	飲食業	クッキー製造機（クッキー成型機・クッキーカッター・カッター専用台）	手作業でクッキーを製造していたので、作業に時間を要し、一部の従業員しか作業ができなかった。	これまで手作業で行っていた作業を機械化することで作業時間が9割短縮できた。また、機械化することで平準化され一部の従業員のみしか行うことが出来なかった作業を全従業員が作業可能となり、生産性向上に繋がった。
209	飲食業	業務用全自動炊飯器	洗米作業に時間を要していた。	業務用全自動炊飯器の導入により、洗米業務を機械化し、この作業に必要となる時間を従来、1日あたり約1時間を費やしていたのが、10分に短縮できた。また、顧客の予想以上の増大時には、1日あたり約2時間を洗米に費やしていたのが、20分に短縮できた。
211	飲食業	食器洗浄機 POSレジシステム	作業効率向上と従業員の負担軽減が課題だった。	食器洗浄機とPOSレジシステムの導入により、作業効率が上がり、従業員の負担が軽くなった。
212	飲食業	スチーム式コンベクションオーブン IHスープレンジ マルチ野菜スライサー	①調理作業は従来は鍋の前で付きっ切りで行う必要があった。 ②煮込み料理やだしを取る作業を行う際、火加減の見張りのため、ガス調理台の確認を頻繁に行っていた。 ③仕込みに時間がかかっていた。	①熱風または蒸気をそれぞれ単独で利用して、「焼く」「蒸す」という作業ができ、また、同時に利用することで、「煮る」「炊く」「炒める」などができるコンベクションオーブンを導入したことによりセットすれば時間まで放置することができるようになった。その間別の作業ができるためその時間すべてが有効となり効率が改善された。 ②電磁調理器（IHスープレンジ）にかけたまま、他の作業が行えるようになった。そのため、チェックの頻度も少なくなり、相当の作業の効率化が図れた。従来であれば、1時間の煮込み料理であれば1時間そのものが別の作業ができるようになり効率改善が図られた。 ③野菜スライサーを導入し大幅に仕込み時間がカットされ10分の1の時間で行えるようになり効率が改善された。 また包丁で行う作業に比べ、作業の安定性もアップした。
216	飲食業	顧客管理システム	顧客情報は今までアンケート用紙などを利用して何とか集めていた。宣伝広告に関しては従業員によるビラ配りやポスティングの作業が必要だった。	顧客情報がスマートフォンを介して自動でパソコンに入力されるので、難なく顧客管理を始めることができる。その他アンケートの自動配信機能もあるので、このアンケート機能を利用して、より細かな顧客情報を入手できる。登録のお客様がご来店された際は、お食事されている間に従業員がパソコンで顧客情報を抽出し即座にお客様の情報が得られる。お帰りの際は、領収書の宛名等をお客様にご来店の度に何度も確認することなく提供できるので業務の時間短縮につながる。登録のお客様へのプッシュ通知、SNS等による宣伝や拡散を利用することにより従業員によるビラ配りやポスティングの作業が全くなくなり、時間短縮、業務改善につながることになった。
219	飲食業	棚・カウンター・滑り止めの設置	調理したものを置く棚、移動式カウンターがなかったので、作業効率が悪かった。中央カウンターの作業勝手が悪かった。作業床が滑りやすく、清掃に時間がかかっていた。	調理したものを置く棚を作ることにより、料理人は集中してどんどん次の料理を作ることができた。移動式カウンターを作ることにより、食器を次々洗うことができた。洗った食器を置くスペースがあれば、その都度調理場にある食器棚に置きに行く必要がなくなり、その時間を他の作業に充てることができた。 中央カウンターの奥行を狭め、高さを低くすることにより、カウンターだけでなく、製氷機や冷蔵庫の上にグラスを置いて一度にたくさんのドリンクを作ることができた。 カウンター上にあったビールサーバーをカウンター下に持ってくることでカウンターも広々使えた。中央カウンターの幅を狭めることにより、冷凍庫を置くスペースができ、カウンター上でデザートを作ることができた。 更に、呼び出しベルも厨房の声も聞こえるので、作業がスムーズに行えた。 CFシート＆滑り止めがあることにより、滑らず、掃除も簡単なので頑固な油汚れの清掃も月に1度40分で済むようになった。
220	飲食業	インカムトランシーバー 音響設備	①移動にかかる時間や作業の待ち時間がかかっていた。 ②コンサートやイベント時の音響設備の借り入れや設置に時間を要していた。	①インカム（トランシーバー）の導入により、お客様の案内状況や食事の進捗状況、料理の出来上がりなどを、瞬時に連絡することができ、移動にかかる時間や作業の待ち時間を50%短縮することができ、労働能率の増進を図ることができた。 ②音響設備の導入により、コンサートやイベント時の音響設備の借り入れや設置の時間が不要となり、100%の効率改善ができた。
224	飲食業	POSレジシステム	予め登録していただいたお客様へのイベント案内に時間がかかっていた。 会計はこれまで手書きの伝票にて行っていた。これまでの在庫管理にも時間がかかっていた。	イベントの際、予め登録していただいたお客様に、一斉に案内を送れるようになり、これまで以上のお客様に案内ができる様になる。これまで、約6時間かかっていた業務が、全て自動化されるため、100%業務の短縮になった。これまで、手書きでの登録もアプリを使いQRコードを使った登録になるため、お客様自身で登録できるため、今まで登録してもらう際に案内をしていた業務がなくなり接客業務に支障がなくなる。更に誤入力もなくなる。この業務も全て自動化され100%業務改善になった。 これまで手書きの伝票にて行っていた会計もPOSレジを使いスムーズに会計ができる。さらに計算ミスなどもなくなり会計業務がスムーズにできるようになる。これまで計算も2回行っていた時間が無くなり、POSレジに導入で50%程度の業務改善になった。これまでの在庫管理の業務は週一回約2時間、月8時間程度かかっていたが、システム導入後は一回5分程度、月20分になり95%程度の業務改善になった。
243	リラクゼーション業	予約システム 顧客管理システム 売上管理システム	①従業員が電話対応で予約を受付けていた。 ②お客様の情報を紙ベースで管理していた。 ③売上についても紙ベースで行っていた。	①予約システムの導入により、メニュー内容の説明、アクセス方法、その他予約の確認などの問い合わせの通話時間の大幅な削減が見込まれた。 ②顧客管理システムの導入により、顧客情報が瞬時に確認ができるようになる。紙ベースでの管理では、記入などの時間に5分程度かかっていたが、今後はその時間が2分程度の短縮につながることが見込まれ、月平均200件の来店客数があるので、月約6時間半の時間短縮になると見込むことができた。 ③売上管理システムの導入について、顧客管理システムと同時に平行して使用することにより、転記ミスや計算ミスがなくなり、今まで月約7時間程度かかっていた紙ベースでの管理が、確認程度の約1時間となり、月約6時間の業務の時間短縮を見込むことができた。
301	児童福祉事業	現在導入しているシフト管理などを行う営業支援システムへの業務日報作成機能の追加	業務日報作成にチェック作業やエクセルでの業務が発生していた。	業務日報作成機能を加えことにより、営業支援システムにあらかじめ登録された情報を利用して自動化を図ることができるため、チェック作業やエクセルでの業務がなくなる。これらの作業に必要な時間を20%程度短縮することができる。
302	介護事業	見守り用のビデオカメラ	お年寄りが機能訓練室で行っている機能訓練の様子を職員が1名～2名同室で見守りを行っていた。見守り時間は延べ6時間に及んでいた。	ビデオカメラの導入により、訓練室にずっと張り付かなくても事務室から機能訓練の様子を確認することが可能になる。これにより、同室内での見守り業務時間を50%程度短縮することができ、空いた時間で業務作業等をすることが可能になる。事務員を専門で雇用しようと考えていたが、その必要がなくなった。
303	介護事業	除雪機	駐車場等の除雪作業に時間と要していて、身体的負担が大きかった。	除雪機の導入により、除雪作業の身体的負担の軽減が図られ、また、作業時間の大幅な短縮ができ、本来の介護業務に専念できた。

整理番号	事業内容	設備投資等の内容	導入前の状況	導入の効果
304	介護事業	車いす対応の車両	利用者の送迎を普通車で行っており、車いす対応の利用者の移乗、移動に時間を要していた。	車いす対応の車両導入により、車いすからの移乗、車いすの片付けの作業がなくなり一連の作業が大幅に軽減され、利用者ひとり当たりの作業時間が10分、10名で1日当たり延べ100分作業時間が短縮され、生産性向上が実現できた。
305	介護事業	福祉車両	以前は車イスの要介護者の乗降に人数と時間がかかっていた。以前は2～3人で乗降、時間としては、約20～30分かかっていた。	福祉車両の導入により、車イスのままの移動が可能となり、介護者負担が軽減でき、安全にも配慮出来た。導入後は1～2人で1人分削減。時間としては、導入後は約10～15分と短縮できた。
306	介護事業	電動リフト付車イス移動車	車イス利用者の送迎に時間と人員がかかっていた。	電動リフト付車イス移動車2台を導入することにより、車イス利用者の送迎に要する時間が以下のように短縮でき、業務改善を図ることが出来た。 1回の送迎に要する時間が延べ140分短縮 送迎人員1名削減
307	介護事業	福祉車両 バリアフリー工事、スロープ付きウッドデッキ新設工事	①車いすを使用している施設の利用者の送迎に時間を要していた。 ②施設出入り、施設内における車いすを使用している利用者の移動に今まで二人以上で抱える必要があった。	①福祉車両を購入したことで、車いすを使用している施設の利用者の送迎の際の車の乗り降りが一人で簡単にできるようになった。 ②スロープ付きのウッドデッキができたので施設の出入りも同じく一人で簡単にできるようになった。さらに、施設内をバリアフリー化したので施設内の利用者の移動も今まで二人以上で抱える必要があった段差がなくなり、スムーズに移動ができるようになり、全体として労働能率が向上し、結果として、これら車の乗り降りや施設の出入り、施設内の移動に要していた時間が30パーセント程度短縮した。
308	介護事業	電子カルテ	利用者ファイルを持ち運ばなくてはならなかった。看護記録の作成は手書きであった。報告書及び計画書作成に時間を要していた。	電子カルテの導入により、利用者ファイルの作成管理、看護記録作成、請求業務、報告書及び計画書作成等の業務全般にかかる時間が3分の1程度短縮することができ、労働能率の増進を図ることができた。
309	社会福祉・介護事業	高齢者住宅総合支援システム	介護記録、集計、計算、合算請求等に時間を要していた。	システムを導入することによって、介護記録、集計、計算、合算請求等の業務時間を20%短縮させることができ、労働能率の増進を図ることができた。
310	社会福祉・介護事業	貯水タンク 回転式助手席付き福祉車両	①浴槽のお湯と、シャワーの湯の出る場所が同じであたことから、片方を使うと湯量が少なくなっていた。 ②車いすから助手席への移乗が困難な利用者が数名おり。今までは男性職員のみ限定で送迎に向かっていた。	①貯水タンクのおかげで、シャワーの勢いが従来の1.5倍程度増えたことにより、洗髪と洗体の石鹸の洗い流しが1人あたり、1分～2分程度短縮でき、現在入浴を行う利用者が12名程度いることから、約20～30分程度の入浴介助業務の短縮ができるようになった。入浴時のトイレを流したときに起こる湯量の低下もなくなり、フロア業務を行っている職員にも制限なく、排せつ業務が行えるようになった。 ②回転シートと自動の車椅子の引き上げ装置のおかげで、小柄な女性スタッフでも対応可能となり、移乗動作の際にも、介護職員の負担が軽減した。帰りの送迎も女性スタッフで対応できるようになった。
311	社会福祉・介護事業	自動食器洗浄機	食器洗浄を洗浄から乾燥まで手作業で行っていた。	自動食器洗浄機の導入により、10分程度で済むようになり、業務時間の大幅短縮できた。
312	社会福祉・介護事業	昇降機	1階から2階又は2階から1階に入居者様を移動支援する時に、ヘルパー3名体制で歩行援護していたが、ヘルパーの負担が大きかった。	昇降機導入により、ヘルパーの労働能率及び労働疲労の大幅な改善を行う事ができた。
313	社会福祉・介護事業	感熱ラベルプリンターの導入	2～3人で手書き、スタンプを押していた値段シールを作成する作業に1時間かかっていた。	機器導入後は1人30分位で、できるようになり作業能率が上がったとの職員の評価が得られている。
315	障害者福祉事業	会計・給与計算クラウドシステム	パソコンへの入力、資料のコピー、会計ソフトへの入力、給与計算業務における印刷業務に時間を要していた。	クラウドシステム構築機器等の導入により、利用者の聞き取り情報等の入力時間、利用者へ配付する資料のコピーの時間、クラウド会計ソフト導による会計ソフトの入力時間、クラウド給与計算ソフトによる印刷時間が、それぞれ短縮された。
316	障害者福祉事業	原価管理及び生産管理システム	原価管理及び生産管理が一元管理できておらず、作業に時間を要していた。	原価管理及び生産管理システムの導入により、日々の生産状況の把握、原価率の日々の管理、作業者の生産性の管理及び分析をシステムで一元化管理する。これにより、この作業に必要となる時間を75%程度短縮することができ、生産性向上を図ることができた。
317	障害者福祉事業	福祉車両	重度介護が必要な利用者の送迎の場合、乗降に時間を要し、職員の負担が大きかった。	福祉車両の導入により、重度介護が必要な利用者の送迎の場合には、乗降について5～10分の時間短縮が可能となった。職員が無理な体勢で移乗作業をすることがなくなり、身体への負荷の軽減(腰痛)が図られ、職員・利用者ともに安全に車両へ移乗ができるようになった。
318	障害者福祉事業	車いす移動車	今まで一般車両しかなかったため、足の不自由な方や介助を必要とする方の乗り降りの介助に2人体制で対応していた。	車いす移動車の購入により、1人体制での送迎が可能となり、送迎にかかる時間の短縮。無理な姿勢による体の負担の軽減にもなった。送迎人員も、一般車両、車いす移動車で円滑に業務ができるので、朝の準備や後片付け、日報の記載に早めに取りかかることができている。
319	社会福祉事業	流し台付きテラス	園児の給食使用時等の食器類を施設の2階まで運び洗浄する作業に時間を要していた。	流し台テラスを導入したことにより、施設に隣接しているので、2階まで運び込む作業時間(30分程度)が軽減され、子ども達の様子を随時見ながら作業できるので、事故防止にも繋がり、職員の精神的ストレスも併せて軽減されている。
320	社会福祉事業	ガス式衣類乾燥機	電気式衣類乾燥機においては、半乾き状態の衣類が残り、その取込み、再度の乾燥作業が必要であった。	今回のガス式衣類乾燥機の導入により、半乾き状態の衣類等がなくなり、再度の乾燥作業や部屋干し、アイロンがけをする必要がなくなった。 短縮できた時間で他の作業ができ、他の職員の負担も軽減され事業所全体の業務改善を図ることができた。
323	老人福祉・介護事業	車椅子対応の車両	車椅子に乗ったデイサービス利用者の車の乗降に職員の負担が大きかった。	デイサービス利用者が車椅子に乗ったまま乗降車できるため乗降車時間が短縮でき利用者、職員ともに負担軽減ができた。また、車両が増えたため2回転の送迎回数が減ることも送迎業務に要する時間の短縮となった。
325	老人福祉・介護事業	送迎車(計9台)に運転支援システム(ナビゲーション、バックモニター、ドライブレコーダー)を導入	送迎で道を間違えたり、送迎のコースによって運転者が限定されたり、バックでお客様宅に駐車するのに時間がかかったり、時にはバック時に物損事故が生じたりしていた。また、運転の仕方に対して苦情がでることもあった。	全スタッフが、送迎で道を間違えることがなく効率的なコースで送迎を行なえるようになった。また、新入職員、地図を覚えることやバックが不得意な職員も効率的に送迎業務に配置できるようになっている。それらより、朝夕2回の送迎のおいて、新入職員や比較的送迎に時間が掛かっていたスタッフの送迎時間が平均5分程度短縮しており、その時間を他業務に当てたり、残業時間の短縮になったりしている。